

検電器・検相器・アースフック 修理・更新・点検のご案内



修理・更新が必要です
点検受け賜わります

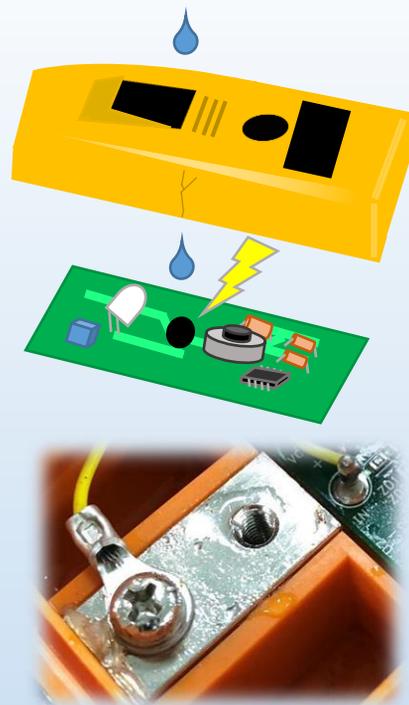


検電器、検相器、検電補助器具などの更新推奨時期

低圧	3～5年
高低圧	5～7年
高圧・特高	5～7年
高圧・特高 (伸縮なしのタイプ)	5～10年

1 検電器、検相器などは定期的に耐電圧試験をしてください

検電器などは長年使用すると汚れやヒビ割れなどで耐電圧性能が低下する場合があります。感電事故防止のために半年から1年に1回の耐電圧試験を推奨しております。



2 目視検査をしてください

ヒビが入ると内部に水が入って電子回路の故障の原因となります。また、雨水などの水分がヒビに入り込み耐電圧性能が保たれない場合があります。ヒビは衝撃のほかに、アルコールなどの薬品でも発生します。

3 アース線は必ず使用前確認を

・アースフック

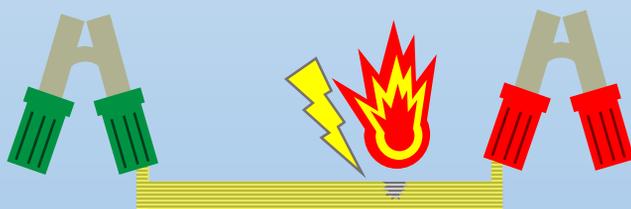
アース線の被覆ビニールが破れている場合、**発火、断線**の恐れがあります。

また、「ほつれ」等は使用中の断線の危険性が高く**重大な事故につながります。**

・検電器

直流検電の場合、アース線断線時**検電器が動作しません。**使用前点検時に、破れなど異常を確認した場合は使用を避け、**修理、又は更新の検討**をお願いいたします。

点検、耐電圧試験、修理ご希望の場合は長谷川電機工業までお問い合わせください。



保守・保管時の注意

- ・薬品等で拭かないでください。清掃する場合は、やわらかい乾いた清潔な布などで拭くようにしてください。
- ・夏期の路上、自動車の中等、高温になる場所に置かないでください。
- ・落下、重量物の下敷きなど、衝撃や強い力が加わらないようご注意ください。
- ・保管する場所は直射日光の当たらない、屋内の感想した所を選んで保管するようにしてください。
- ・本機を破棄される場合は、産業廃棄物として処分してください。

本器の分解・改造はしないでください。
分解・改造により生じる一切の事故には責任を負いかねますのでご了承ください。



長谷川電機工業株式会社

本社・営業部 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江5-8-17
TEL: 06-6429-6144 / FAX: 06-6429-0016
東京支店 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-4 日幸小津ビル4F
TEL: 03-3662-2715 / FAX: 03-3662-2716
名古屋営業所 〒464-0074 名古屋市中区千種区仲田2丁目15番8号 NTCビル11F
TEL: 052-386-8318 / FAX: 052-386-8317
仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-5-1 オーク仙台ビル7F
TEL: 022-265-9378 / FAX: 022-713-6392